青年農業士に認定されました。

青年農業士とは?

農業技術・経営に関する一定の研修を修了し、プロジェクト活動に取り組み、その成果を上げた地域農業振興のリーダーとなり得る青年を、昭和53年から知事が認定しています。現在、県内で1,384名、うち屋久島町では20名が認定されています。



平成28年2月5日, 鹿児島市で平成27年度青年農業士の 認定証交付式があり, 屋久島町からは2年ぶりに, 日髙要人 さんが青年農業士として認定されました。

今後も, さらに地域や農業経営に頑張る青年農業者として の活躍に期待しています。

堆肥コンクールで県最優秀賞を受賞!





平成28年2月4日,県堆肥コンクール表彰式があり,屋久島町の(有)宝珠産業が最優秀・県知事賞を受賞しました。出品点数46点の中から,色,臭気,品質分析を審査し,高得点で選定された。今後も堆肥センターを中心に,農業分野を含め,多方面の活躍が期待されます。

~県立農大の学生を募集します~



鹿児島県立農大は、1学年定員115名(農学部70名, 畜産学部45名)で、全寮制の農業専門校です。農業の基礎、実習、発展的教育を主な柱に、学生は2年間充実した学習、生活に励んでいます。

お近くに,農業を志す方がいましたら紹介いただくとと もに,各種生産部会の研修先としてもご活用ください。

詳しくは屋久島事務所農林普及課まで御連絡ください。



写真でつづる 普及活動 この1年

農業普及係では、平成27年度は7つの課題を設定し、関係機関・団体と連携を図りながら、活動を行ってきました。今回はその一部を写真で紹介します。

屋久島農業を担う人材の育成・確保

屋久島農業を担う経営体を育成するため、認定農業者の経営改善支援や新規就農者、青年・女性農業者を支援しています。



最近法人化した農家を招き経営発展の手法を研修



認定農業者に対し農業制度資金活用の研修会を実施



プロジェクトを発表「青年農業者会議」(7月)



新規就農者の定着を支援

「新規就農者農場巡回」「就農トレーナー茶部門研修」(10月)



伝承講座と牛乳料理「屋久島"食"の文化祭」(10月)



先輩女性農業者に学ぶ「女性農業者の集い」(11月)

地域の特性を活かした畑作農家の育成

畑作物の規模拡大による農家の経営・技術を支援しています。



ハ-フソイラを活用した排水対策



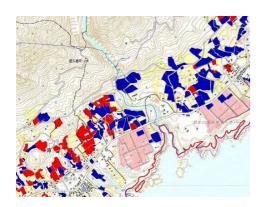
焼酎用さつまいも検討会



微生物資材を活用したばれいしょ そうか病対策検討

たんかん・ぽんかん栽培農家の経営安定

たんかん・ぽんかんの老木園の調査や品質/生産性向上の支援を行っています。



主要値果樹地帯の老木園調査の実施 (7~11月)



「高品質果樹生産技術研修会」 老木からの脱却をテーマに研修(10月)



雪が降る中 出荷前目揃え会(1月)

屋久島の特性を活かした茶産地の育成

栽培・製造技術の改善や安心・安全な茶づくりを支援しています。







屋久島茶PR(産業祭) (5月)

熊毛地区製茶共進会最優秀賞受賞(5月)

一番茶互評会(5月)

ミカンコミバエはいろんな植物に寄生します!

ミカンコミバエの寄生植物は、かんきつ類を主体とした果物やトマト、ナス等の野菜、やまも も等の野生植物など約270種にのぼると言われてます。





寄生植物の除去とテックス板設置





- ・利用目的のない寄生植物の果実は、未熟なうちに除去し、できるだけ 深く埋設して下さい。
- 野生植物まで考慮すると全ての寄生植物除去は難しい状況です。撲滅するには、現在、実施しているテックス板設置が重要になります。当分の間、毎月設置することとなりますので御協力をお願いします。

青色申告を経営改善に活かそう!

前年の決算時期を迎え、何かと忙しい時期となりましたが、1年の締めくくりと始まりであると考え、是非今年の目標や計画を考えましょう。

今回は、昨年の実績や今年の計画を立てるうえで役に立つ方法を、簡単に紹介します。

◆青色申告は所得税のためにする?

青色申告制度は税務申告の手法ですが、貸借対照表と損益計算書の2つの帳簿があります。損益計算書は、収入と支出で1年間の収益を表し、貸借対照表は、期首と期末で経営財産の動きを表します。

農業経営は、経費や機械投資などが先に必要で、収入を得るまでに相当の期間がかかります。

損益計算書だけでは、1期間(1年間)で「もうかった(赤字だった)」という費やした結果が評価できません。経営状態を把握するには、棚卸や資産(負債)の増減を記録した貸借対照表が必要です。青色申告を所得税のためだけでなく、経営状態の確認や改善に活かしましょう。

資

産

◆青色申告の特徴と利点

① 必要経費等を把握する

家事関連経費(燃料,水道料,電話料金等)を 経費算入し,決算時に家事経費との案分を行う。 また費用(資料,肥料など),生産中の農産物 などを棚卸する。

② 経営状態を把握する

貸借対照表にある、現預金はもちろん、売掛

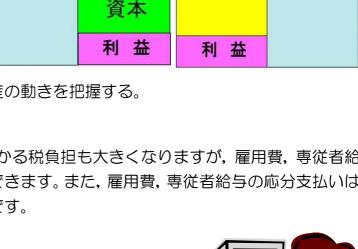
金, 買掛金などの資産, 負債を明確にし, 経営財産の動きを把握する。

③ 所得の分配ができる

個人経営の場合,経営が大きくなると経営主にかかる税負担も大きくなりますが,雇用費,専従者給与で所得を抑えることで税負担を軽減することができます。また,雇用費,専従者給与の応分支払いは労働の意欲増にもつながることから,検討が必要です。

◆損益計算書,貸借対照表を活用する

この2つを経営では「財務諸表」といい、経営診断分析をすることができます。 経営の収益性、生産性、安全性、成長性といった経営状態の確認をするのに役立 ちます。パソコンで記帳している方は、しっかりと記帳されていれば、簡単に分 析することができます。経営状態が確認できることから信用力が向上するのも特 徴です。



費

用

売

E

く貸借対照表と損益計算書>

負

倩



財務諸表の見方や活用してみたい方は、是非、農林普及課に相談してください。

生産性の高い肉用牛経営の確立・推進

繁殖成績や子牛の生産性の向上・安定化を支援しています。



町品評会で1席の育成牛が郡共進会 でも最優秀1席



肉用牛増頭に意欲のある農家が政策金融 公庫と計画を検討

持続的な地域農業の推進

地域農業の維持に向けた集落営農等の話し合い活動を支援しています。



農地の管理をどうする?「農地中間管理事業」の説明会(原)

湯泊集落いけんかすっ会の活動

屋久島の農林水産物を活かした地産地消ビジネスの推進

農業の6次産業化による経営の発展を支援しています。



国の6次産業化プランナーを講師に6回セミナー開催(9月~1月)



屋久島の魅力について語り合う

『見果てぬ夢を追う!』 ~今です、屋久島農業を変えるときは~

熊毛支庁屋久島事務所農林普及課長 淵之上 修一

私たちは、夢は、遠いところにあるように思っています。しかし、よくよく考えてみると、夢だと思っていたものは意外と身近にあったりします。それは、夢を叶えたいという「強い願い」を持ち続けることによって出会えることではないでしょうか。現実は、台風・豪雨災害、口永良部島噴火・避難、ミカンコミバエ侵入・対策、TPPへの対応等々厳しい環境です。



平成26年8月,屋久島町技術員連絡協議会研修で「屋久島地域活性化への道~10年後,2025年をめずした活性化への道~」について実現可能な夢を提案しました。2025年に期待する屋久島農業への夢です。一緒に、屋久島農業について考えてみませんか。

- ◆農業者が"生産者"から"経営者"に意識が変わっている。
 - Ø 農業者の意識改革が進み、経営者としての必要な知識・技術を身につけ、経営感覚・経営者能力が向上している。(プロの農家が育っている)
- ◆高齢者層,農業を家業としている人,ビジネスとして経営する人のすみ分けが進んでいる。
 - Ø 高齢者ができること(作物の選定・作業の場)が明確化、集約的野菜の導入、果樹の小面積集約化・外部 委託化、労働力としての登録制度による受託作業強
 - ② 農業を家業としている兼業農家、零細農家については、農家所得部分の確保・向上のための計画的な取組が進んでいる。共販は重点品目を中心に、個販は大規模農家と連携した販売力強化が図られている。
 - ② 経営者意識の高い層は、生産組織を中心に生産体制 確立と販売力を強化している。
- ◆農地の再配分・流動化が進んでいる。
 - Ø 農地の所有・利用を誰が担うかが見えてきている。
 - Ø 遊休農地、耕作放棄地の登録手続きが簡素化され、新規参入しやすくなっている。
 - ② 人・農地プラン, 農地中間管理事業等の展開により, 高齢化, 農業生産年齢者数の減少傾向の中, 担い手農家への集積が進んでいる。
- ◆生産体制のあり方が付加価値を高めたものとなっている。
 - ② 農地利用体系が確立、輪作体系も整い効率的、持続的生産体制が整備されている。
 - ② 畜産、耕種部門との堆肥流通ネットワーク化、自給飼料輪作による連作対策も進み、自給飼料確保、堆肥利用のための受委託組織が立ち上がっている。
 - ② 生産性向上のための組織が編成され、作物が団地化された中で生産、6次産業化が進み、付加価値を高めた製品(商品)販売が取り組まれている。
 - ② 系統共販の生産者組織が強化され、販売力、販路が拡大している。
- ◆流通面では、市場中心から、受託生産供給も強化されている。
 - ② 屋久島というネームバリューを活かした販路拡大に見合う生産体制確立,販売は市場中心から契約的受注 販売の取組と新たな販路確保による安定販売。
 - Ø 地産地消は、観光資源としての活用が急速に進み、地域内受給生産供給システムが確立されている。また、観光サイドの宿泊施設、飲食店、土産品店、観光施設等において必要とされる商品(生鮮物、加工品)の数量、契約価格が設定された。



取引販売が進み,観光客へのサービス向上,屋久島特産物の提供という農業・観光連携ビジネスが定着している。さらに,農業生産物だけでなく,林業,水産業との連携強化も図られ,農林水産業,商工業の一体となった体制が屋久島の活性化に貢献している。

◆地域内の構造基盤が整備され、また、経営体を中心とした 集落営農組織が、集落機能維持発展のための手法となり、



各地域に波及している。

も増加している。

- Ø 農地の担い手(経営体)への集積,畑かん施設が完備し生産体制は整っている。
- Ø 多面的機能保全管理が定着し、自主的に農道や用排水路の整備が行われている。
- ② 鳥獣被害対策についても、電気柵、シカ柵等の設置の継続・活用により、集 落単位の被害軽減対策が成果を上げている。

◆各部門の明確な方向性が確立し,安定した生産・販売が進んでいる。

② 果樹は、平成28年には、ミカンコミバエも終息、果樹農家の生産意欲も復活。地理情報システムを活用した園地の実態把握と整理が急速に進み、たんかんを中心に、若手農業者を中心とした組織再編も進み、「屋久島ブランド」産地が維持されている。「ぽんかん」は販売時期を考慮した、新たな販売が

展開されている。KP2 を主に系統転換も進展し、高齢樹については伐採、「津の輝」、「みはや」、「黄金柑」などが実証導入され、「屋久島のオリジナル果樹シリーズ」として見事な品目転換を進めている。

Ø 野菜は,「ばれいしょ」は,焼酎用さつまいも,緑肥 $^{'}$

等との輪作体系が確立し、大規模農家を中心に規模拡大が進んでいる。また、集落営農組織における品目としても導入されている。「実えんどう」は、県育成の「まめこぞう」の栽培技術が定着、屋久島の気候を活かした品目として、評価されている。その他、補完品目、輪作品目として、ソロヤム、その他有望野菜が拡大している。

- Ø 茶は 1 戸あたりの経営面積が拡大し、所得向上が図られている。また、生産、加工管理技術の向上により品質が向上し、屋久島ブランドとして茶商はもちろん、消費者の認知度も高まっている。
- Ø 肉用牛は、拡大志向農家の増頭が実現され、1 戸当たりの飼養規模が拡大、産地が維持されている。また、子牛の商品性や生産技術の向上・安定化が図られ、収益性の改善が図られている。
- Ø 6次産業化は、10年前に取り組まれた町の地域振興推進事業〔自然の恵み拡大事業〕の成果が実り、各種農林水産物の加工品が商品化された。その後、商工観光等との連携により、お土産品として地元、

観光客に定着するようになっている。

★強く望めば願いは叶う。屋久島の農家、関係機関のみなさん、夢は見ましょう!追いかけましょう! そのためには、智恵を働かし、話し合いましょう! 個人を尊重し、住みやすい集落、町にして幸せな時間をもちましょう。

「屋久島人の智恵を 今に活かして 未来につなごうではありませんか!」